



ユーフォリア豊中開設5周年

5周年を迎えるにあたつて

ユーフォリア豊中
施設長 柳本達彦

ユーフォリア豊中は、本年4月1日をもちまして開設満5周年を迎えることができました。無事5周年を迎えることができましたのも、ご利用者、ご家族、その他関係者の皆様のおかげと感謝する次第でございます。さて、介護保険制度も制度施行5年にあたり、大規模な制度改革が行われました。昨年10月からの入所者居住費の自己負担化や食費の自己負担分の値上げなど、人口の高齢化に伴う国の社会保障費全体が急増する中、介護分野の制度変更による自己負担の増大にもかかわりませず、引き続き施設入所を選択していただいた皆様には心よりお礼申し上げます。

ユーフォリア豊中は、2006年から新たな5年へと第2ステージに入ります。介護保険制度を取り巻く環境が厳しさを増す中におきましても、ユーフォリアという名前の意味するところのささやかな幸福感を提供できるサービス環境をめざして、施設全体で取り組んでいきたいと考えております。今後とも宜しくお願ひいたします。

開設から色々ありました…



春の恒例行事となりました、造幣局桜の通りぬけに行つてきました。利用者様が長い間待ち望んでいた日です。

現地に着くまでの車中では、利用者様と職員との会話で、「花咲いてるかな?」「天気良くなるかな?」と話されており、大変話が盛り上がった様子です。

昼食は「かつば寿司」で、各自好きな物を食されて、とてもお腹もいっぱい満足されていました。

造幣局に到着し、雨が小降りで地面もぬかるんでいた為、車の中からの花見でした。車で川の真横の道を往復した際には、桜が満開で、利用者様が「桜のアーケードを通っているようや」と言わっていました、車の中からの花見でしたが、大変満足されました。帰りに造幣局で饅頭を買いました。帰りに造幣局で饅頭を買いました。雨が降っていたので、外では食べられずじまいでしたが、施設に戻つてから、皆様一緒にお茶会を開き、おいしい饅頭を食べながら、その日1日の事を振り返つて、楽しく会話していました。

介護スタッフ 大下恵

4月中旬～下旬にかけて「季節感を感じていただく」為に、万博公園にあるチューリップ畑にも行きました。一面にチューリップが咲いており、「キレイ」「キレイ」と利用者様の声も聞かれていました。

外出先での、利用者様の明るい表情・会話を聞いていると、利用者様にも良い気分転換となったと思います。

